

(記載例)

(様式第 2 号)

業務実績書

(提出者) 商号又は名称 株式会社〇〇〇〇

発注者	〇〇株式会社
業務名	女性デジタル人材育成業務
契約期間	R6年5月1日～R7年3月31日
契約金額(千円)	〇〇〇〇千円
業務概要 (本委託業務との関連性が分かるように具体的に記載してください。)	<ul style="list-style-type: none">デジタルスキル(RPA、Web制作等)に関する人材育成講座の企画・運営講座修了生と企業との業務委託マッチング支援地域企業のDX課題に関する調査及びコンサルティング
事業規模・対象者 (講座参加者数、支援対象企業数など、事業の規模が分かる情報を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none">講座定員: 〇〇名、講座修了者: 〇〇名マッチング支援対象者: 〇〇名開拓企業数: 〇〇社
主な成果 (定量的・定性的) (設定したKPIとその達成状況、事業を通じて得られた成果や発注者から評価された点などを具体的に記載してください。)	<p>【定量的成果】</p> <ul style="list-style-type: none">講座修了率: 〇〇% (目標: 〇〇%)修了後3か月以内就労率: 〇〇% (目標: 〇〇%)マッチング成立件数: 〇〇件創出された契約総額: 〇〇〇万円 <p>【定性的成果】</p> <ul style="list-style-type: none">受講者アンケート満足度: 平均〇.〇点(5段階評価)参加企業から「期待以上の品質で、継続発注につながった」との評価を獲得〇〇新聞に先進事例として掲載された
当該実績における担当役割 (共同企業体の場合は代表/構成員の別、再委託の有無等を記載してください。)	(例1: 単独受注) (例2: 〇〇共同企業体の代表構成員として、事業全体の統括及び人材育成パートを担当)
当該実績における特筆すべき点と本提案への貢献 (創意工夫、独自のノウハウ等を記載してください)	独自の「チーム型OJT(ワークシェアリング)モデル」の導入

※同種又は類似業務の受託実績について、主要な実績を3件以内で記載すること。(1/2)

※本様式は、必要に応じて記載枠の幅・数の変更や複製も可とする。

複数枚になる場合は、表の右下の(/)部分に通し番号を記載すること。

※発注者は、地方公共団体、民間事業者等を問わない。

※共同企業体の場合、構成員ごとに提出すること。